

## 製販連携を目指すドラマの制作力を評価 開局55周年「弁当屋さんのおもてなし」担当役員賞 シーズン2制作スタッフ一同

2024年5月14日（火）

自社制作の開局55周年ドラマ『弁当屋さんのおもてなし』は、製販連携を目指すドラマの制作力を社内外に示した功績が高く評価され、シーズン2制作スタッフ一同に担当役員賞が送られました。シーズン2は全4話の個人平均視聴率が4.0%、平均占拠率が26.7%と好成績を記録し、作品への高い評価とともに多くのファンを獲得。シーズン1に引き続き系列局への番組販売やネットフリックスへの動画配信も実現し、HTBが目指す持続可能な自社制作ドラマのひとつの試みとなりました。スタッフを代表して社会情報部の平尾由佳子監督は「様々な方のお力添えあつてのドラマ制作であり、ものづくりに真摯に向き合える環境を整えてくださり感謝しています。これは、脈々と続くHTBドラマ制作の魂と新たな風が混ざりあつて出来たコンテンツです。ぶつかり合い補い合つて生まれた、道民の道民による道民のためのエンタメです。誰のために作るのか突き詰める姿勢をこれからも忘れずにいたいと思います」と話しています。



後列左から 星悠平プロデューサー、平尾由佳子監督、大谷英樹さん、瀬戸川雄一監督、道下学さん  
前列左から 岩崎加奈さん、高橋郁也さん、寺内達郎社長。皆さん、おめでとうございます！